

HDFラミネートフローリング

ADROY'S® QUICK FLOORING

アドロイズ・クイックフローリング

●表示価格には、施工費・加工費および運賃は含まれていません。



Easy Installing

ノリ、釘を使わない簡単施工。

Easy Renovation

だから貼り替えも簡単。

Strong & Beautiful

しかも傷が付きにくく美しい仕上げ。

 **ADROY'S® QUICK FLOORING** アドロイズクイックフローリング

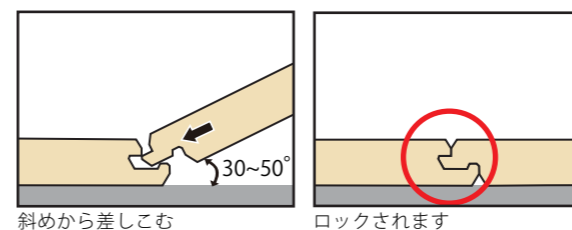
置床式工法

従来のフローリング施工とは違い、接着剤や釘を使用しません。

- ▲湿度や温度状況により伸縮しますので施工の際は、必ず施工要領書をご確認ください。本ください。
- ▲工の際に、下地調整や湿気防止のために必ず防湿シートが必要になります。

ヴァリングロックシステム

サネ形状にはヴァリング社(スウェーデン)の特許技術を採用。

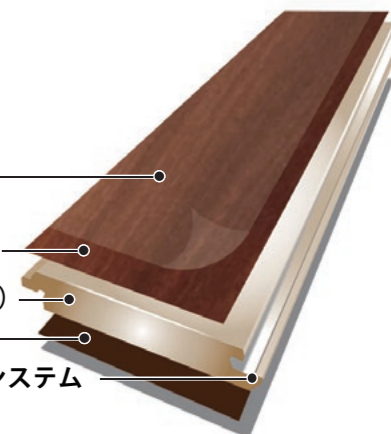


斜めから差しこむ

ロックされます

構造

- ① 酸化アルミニウムコーティング
- ② メラミン樹脂含浸フィルム
- ③ HDF (高密度繊維板)
- ④ バランスシート
- ⑤ ヴァリングロックシステム



特徴



傷に強い

ホテル、ショッピングモール、賃貸マンションなど傷つきやすい場所に最適です。



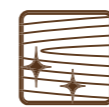
ワックス不要

メンテナンスフリー。ワックスのメンテナンスも必要ないためお手入れも簡単！



衝撃に強い

表面フィルムに施された酸化アルミニウムが表面を強力に保護。



無垢材のような質感

圧倒的な高級感のある木目をセレクト。



熱に強い

メラミン樹脂含浸フィルムを使用しているためタバコの火を落としても焦げ跡が残りにくい。



水に強い

表面は撥水性があり、水がしみ込みにくい。



紫外線に強い

住宅や店舗などの窓際で直射日光のあたる床にも問題なくご使用できます。



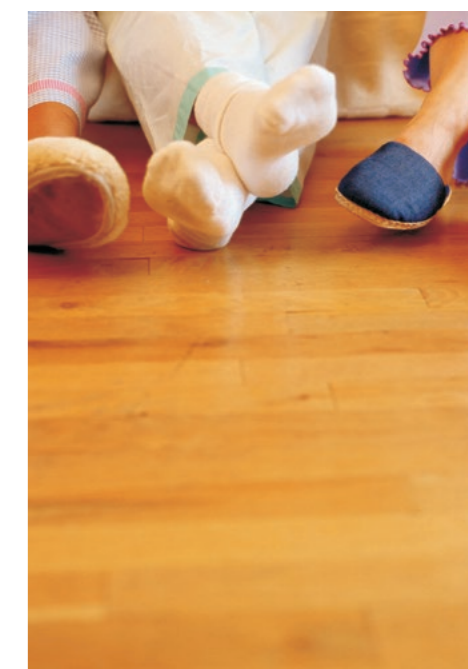
施工性の良さ

糊や釘を使わないので、スピーディーに施工が可能。



床暖房対応

熱耐久試験を実施済みです。ご安心して使用できます。



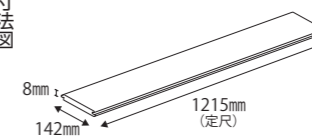
体に優しいフロア



シックハウス症候群の原因となる化学物質ホルムアルデヒドを抑え、国土交通大臣認定フォスターを取得しておりますので、安心してご使用いただけます。

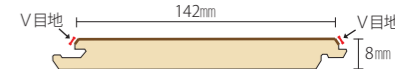
認定区分: 国土交通大臣認定 (認定登録番号: MFN-2818)

寸法図



断面図

V目地を採用
天然木フローリングと同様のV目地加工を採用し、グレードを高めました。また、V目地は表面と同色にしてあります。



メープル (RWCL-1403)

HDFラミネートフローリング

ADROY'S® QUICK FLOORING

アドロイズ・クイックフローリング

●表示価格には、施工費・加工費および運賃は含まれていません。



RWCL-1401 ホワイト



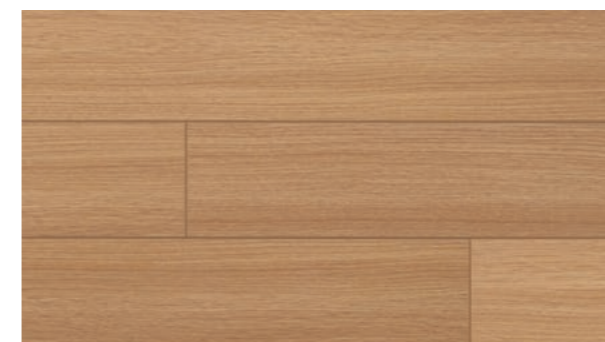
RWCL-1412 スモークホワイト



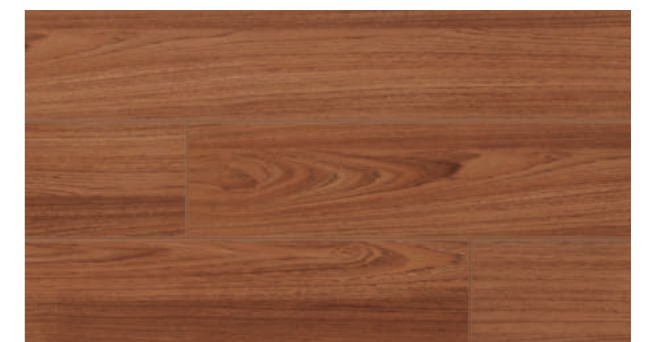
RWCL-1403 メープル



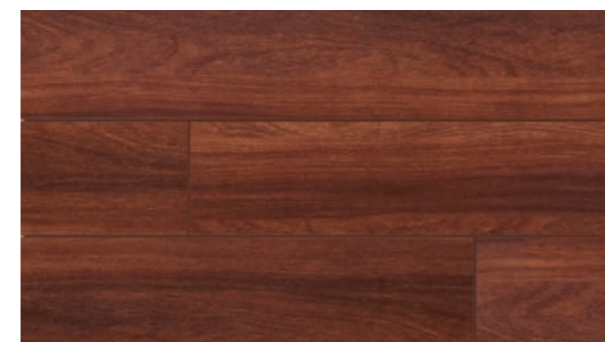
RWCL-783D オークベージュ



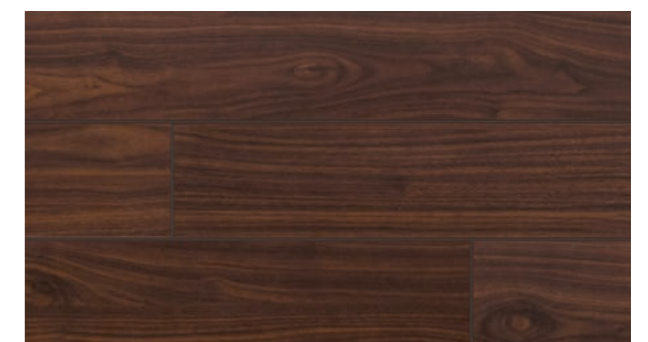
RWCL-1405 オークナチュラル



RWCL-1408 チークナチュラル



RWCL-1411 ケンパス



RWCL-1402 ウォルナット ダーク



HDFラミネートフローリング

ADROY'S® QUICK FLOORING

アドロイズ・クイックフローリング

役物

<p>1 L型床見切 <small>プラスチック製</small></p> <p>壁際に巾木を使用しない場合や、敷居との取り合いなどに使用します。</p>	<p>2 T型床見切 <small>プラスチック製</small></p> <p>部屋の間切りや、部屋が広い場合にクリアランスを取るために使用します。 (目安：10mに1カ所)</p>	<p>3 巾木 <small>MDF製</small></p> <p>壁面のクリアランスを取る場合に使用します。</p>
<p>4 上り框 <small>MDF製</small></p> <p>玄関の上り框として使用できます。また、階段や段差の大きい場所でも使用可能です。</p>	<p>5 段差見切 <small>MDF製</small></p> <p>リフォームなどで発生する店舗の改装や、家の段差を解消する場合に使用します。</p>	<p>6 上り框L型</p>

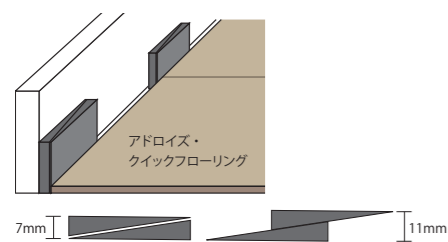
※フロア平物と全く同一色でなく、近い色ですのでご注意ください。各種見切材には受け材がセットになっています。小さめのビスで下地に固定してください。受け材のプラスチックは厚み約2mm程度になるので施工の際はご注意ください。

専用スペーサー

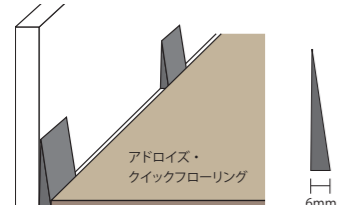
専用スペーサー (くさび型)
RWCL-14822



○2枚使用 (7mm ~ 11mm)

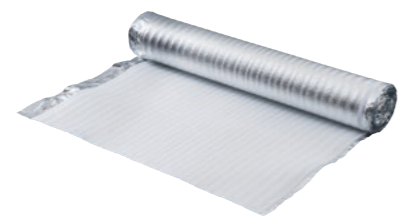


○1枚使用 (6mm)

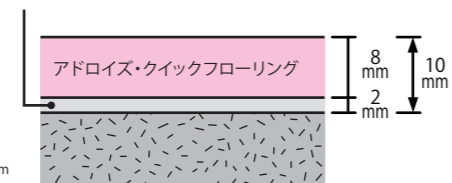


防湿シート

防湿シート (2mm厚)
RWFE-2 (1.1×16.91m/ロール)



防湿シート RWFE-2



防湿シート (4mm厚)
RWXX-4 (1.1×15m/ロール)



防湿シート RWXX-4



対応商品	1 L型見切 <small>プラスチック製</small> W33 × H10.6 × L2000 mm	2 T型見切 <small>プラスチック製</small> W41 × H12.2 × L2000 mm	3 巾木 <small>MDF製</small> W9 × H60 × L2400 mm	4 上り框 <small>MDF製</small> W18 × H55 × L2400 mm
ホワイト	RWCL-1401PEM ●	RWCL-1401PTM ●	RWCL-1401H ●	RWCL-1401K ●
ウォルナットダーク	RWCL-1402PEM ●	RWCL-1402PTM ●	RWCL-1402H ●	RWCL-1402K ●
メイプル	RWCL-1403PEM ●	RWCL-1403PTM ●	RWCL-1403H ●	RWCL-1403K ●
オークナチュラル	RWCL-1405PEM ●	RWCL-1405PTM ●	RWCL-1405H ●	RWCL-1405K ●
オークベージュ	RWCL-783DPEM ●	RWCL-783DPTM ●	RWCL-783DH ●	RWCL-783DK ●
チークナチュラル	RWCL-1408PEM ●	RWCL-1408PTM ●	RWCL-1408H ●	RWCL-1408K ●
キャンパス	RWCL-1411PEM ●	RWCL-1411PTM ●	RWCL-1411H ●	RWCL-1411K ●
スモークホワイト	RWCL-1412PEM ●	RWCL-1412PTM ●	RWCL-1412H ●	RWCL-1412K ●

対応商品	5 段差見切 <small>MDF製</small> W45 × H12 × L2400 mm	6 上り框L型 W2000 × H65 × L120 mm	上り框受け (各色共通)
ホワイト	RWCL-1401D ●	RWCL-1401KL ●	RWCL-KL8 ●
ウォルナットダーク	RWCL-1402D ●	RWCL-1402KL ●	
メイプル	RWCL-1403D ●	RWCL-1403KL ●	
オークナチュラル	RWCL-1405D ●	RWCL-1405KL ●	
オークベージュ	RWCL-783DD ●	RWCL-783DKL ●	
チークナチュラル	RWCL-1408D ●	RWCL-1408KL ●	
キャンパス	RWCL-1411D ●	RWCL-1411KL ●	
スモークホワイト	RWCL-1412D ●	RWCL-1412KL ●	

※上り框L型1本につき上り框受けが1本必要になります。ご注文の際には注意してください。

伸縮する素材です。下記の注意事項を守って施工してください。

本製品は置き敷き工法にて施工してください。

貼り方はウマ貼りかランダム貼り(300mm以上)で施工してください。

⚠️ クリアランスを開けてください。

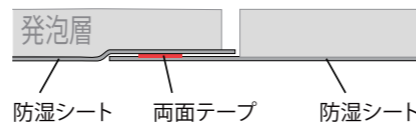
- 壁際等には、**5mm以上のクリアランス(調整幅)**が必ず必要となります。専用スペーサー(RWCL-14822)をご使用ください。
- 縦、横ともに10mを越えた長さに施工する場合は、必ず10mごとにT型見切材をご使用ください。
- クリアランスを十分に確保していなかったり、下地の不陸が大きい場合は、床鳴りやつき上げの原因となる場合があります。

⚠️ 動きを妨げないでください。

- 伸縮時にフロアが動けるように、釘や接着剤で固定しないでください。
- ビスで固定しなければ納まらない部分はビスの径よりも少し大きめの下穴を先に開けてから留めて、伸縮に対応できるようにしてください。

⚠️ 下地の湿気を防いでください。

- 施工前に下地が乾燥していることを確認した上で施工してください。
- 防湿シートは必ず敷いてください。(発泡層側が上になります)
- 防湿シートは下地面に接着しないでください。
- 防湿シートはすき間のないようシート裏面の両面テープで、シート同士をしっかりとめてください。
- * 両面テープでの接着が不十分でシートとシートの間にすき間があると、下地からの湿気が上がり、床鳴りやつき上げの原因となります。
- 清掃の際は直接、水を撒かないようにしてください。ドライモップや掃除機でお手入れしてください。汚れが残る場合は、固く絞った雑巾やメラミンスポンジ等で汚れを落してください。



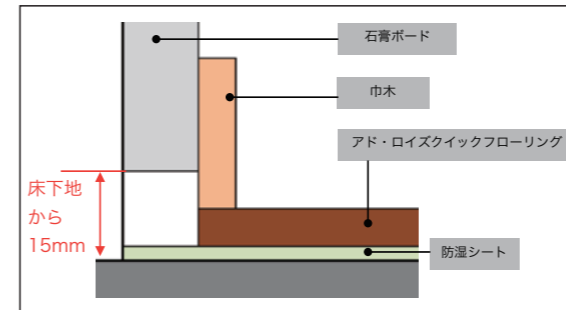
⚠️ 下地は平滑で乾燥していることが条件です。

- 下地にゴミや汚れがある場合は、よく清掃してから施工してください。
- アドロイック・クイックフローリングは在来工法・ツーバイフォー工法・パネル工法・軽量鉄骨工法・RC造等々すべての工法に使用できますが、12mm以上の下地合板か、それ同等以上の下地が必要です。
- 根太間隔は450mm以下で施工していただくとう床鳴りが起こりにくくなります。
- 根太間隔が600mmの場合は床がたわみ、床鳴りが起こることがありますので補強してください。
- 不陸調整の目安は±1.5mm/m以下としてください。
- 特にRCスラブ上に直接施工する場合は、コンクリート片等のハツリが必要不可欠です。
- カーベットの柔らかい下地材は施工前に外してください。

⚠️ サネはしっかりロックしてください。

- サネ部分を差し込むときは、しっかり奥まで差し込んだ上でゆっくりと平面になるように倒しこんでください。
- サネの凹み部分にゴミが入っている場合、よくゴミを取り除いてください。
- 2列目以降の施工は段差が発生しやすくなりますので、必ず指や爪を立ててつなぎ目に段差がないか確認してください。
- * 段差があるのは、サネがきちんと入っていない状態ですので、再度入れ直して施工してください。
- (注) 施工を続けてしまうと隙間が開いている状態のため再度、貼り直しの手間が必要ですので注意してください。
- 1部屋の施工は1日で完成させてください。数日間に分けて施工すると湿度等の条件が異なるため、不具合が発生する場合があります。

■ 壁面部 標準納まり① (石膏ボードを上げることができる場合)

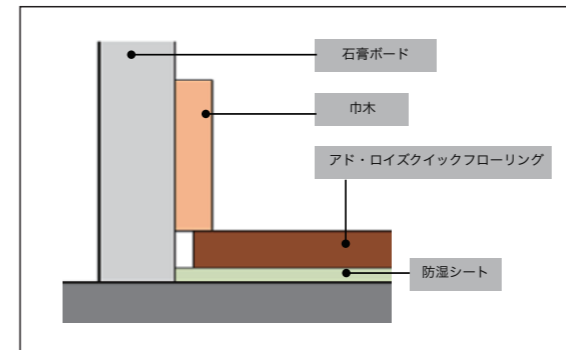


- 石膏ボードは床下地から15mmほど上げて止めてください。
- フローリングの端を左の図のように石膏ボードの面に合わせてから貼り始めてください。
※フローリングがズレないように仮クギを使用する方法もあります。▶次頁③参照
- 巾木は、フローリングを軽く押さえるように貼ってください。
石膏ボードの厚みがクリアランスとなります。(次頁参照)

例) 石膏ボードの厚さが9.5mm、巾木の厚さが9mm(合計18.5mm)のように大きくクリアランスをとれる場合でも、縦・横ともに10M以内に見切りを入れてください。

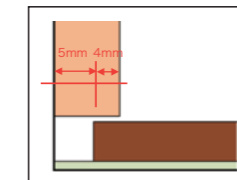
※巾木の固定は、釘止めまたは、ウレタン系接着剤をご使用ください。

■ 壁面部 標準納まり② (石膏ボードを上げられない場合)



- 巾木の厚さのみのクリアランスとなりますので、標準納まり①よりも見切りを入れる間隔を短くする必要があります。

例) 厚さ9mmの巾木を使用し、クリアランス5mmの場合、縦・横ともに6M以内に見切りを入れてください。※図A参照

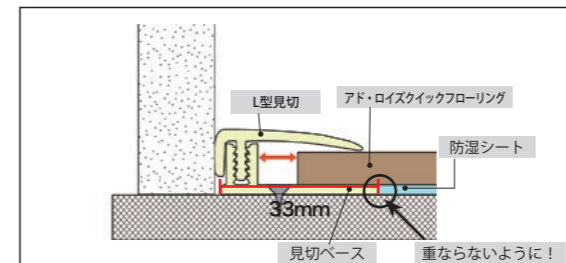


実際には必ず5mm以上のクリアランスを取ってください。 ※表A参照

※巾木の固定は、釘止めまたは、ウレタン系接着剤をご使用ください。

■ 壁面部 標準納まり③ (巾木が使用できない場合)

巾木を使用しない場合はL型・T型見切りを使用します。(防湿シートはL型・T型見切のベースと重ならないように使用してください。)



- ※クリアランス確保のため、床先行工事を推奨します。
- ※巾木の固定は、釘止めまたは、ウレタン系接着剤をご使用ください。

【性能試験結果】

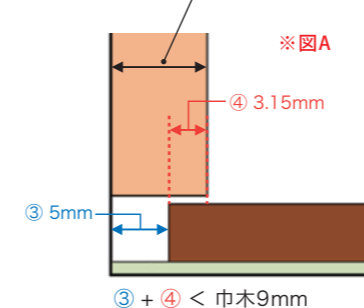
試験項目	規格	試験結果	
含水率	JAS	5.48%	
表面の硬さ(フニル硬さ)	JIS Z 2101	39.2N/mm ²	
引っつき硬度(鉛筆法)	JIS K 5600-5-4	9H 以上	
耐摩耗性(磨耗A試験)	JAS	100回転当たりの磨耗減量g 0.008g 500回転後における試験片の表面の変化(2片とも表面材は残っていた。)	
耐衝撃性(デュボノ式)	JIS K 5400	0.15mm	
浸透性はく離	JAS	すべての試験片及びすべての測定面においてはく離は認められなかった。	
耐水性(耐水圧試験)	JAS	2片の試験片及びすべての測定面においてはく離は認められなかった。	
耐汚染性(汚染A試験)	JAS	2片の試験片及びすべての測定面においてはく離は認められなかった。	
耐シンナー性	JAS	2片の試験片及びすべての測定面においてはく離は認められなかった。	
耐酸性	JAS	2片の試験片及びすべての測定面においてはく離は認められなかった。	
耐アルカリ性	JAS	2片の試験片及びすべての測定面においてはく離は認められなかった。	
滑り試験	軟底	乾燥状態	0.74
		水+ダスト	0.35
	硬底	乾燥状態	0.76
		水+ダスト	0.33
熱耐久試験	湿水床置	最大値	0.22mm
		間隙	0.30mm
		段差	0.10mm
		凹凸	0.05mm
		反り	0.22mm

⚠️ 必要クリアランス

※必ずこれを守って施工してください。

※表A

(例) フロア1辺6mの場合
専用巾木 9mm ▶ P.140



① フロア1辺の長さ	1M	2M	3M	4M	5M	6M	7M	8M	9M
② 実際の伸び幅(mm)	0.78	1.57	2.35	3.14	3.92	4.71	5.49	6.28	7.05
③ 必要なクリアランス(mm)	5					7	8	9	
④ 縮み幅(mm)	0.52	1.05	1.57	2.10	2.62	3.15	3.67	4.20	4.72
⑤ ③+④(クリアランス+縮み→これ以上の厚みのものをかぶせてください)(mm)	5.52	6.05	6.57	7.10	7.62	8.15	9.67	11.20	13.73

※7m以上は壁面部標準納まり①又は③を参照してください。

※10m以上は必ず見切りを入れてください。

アドロイズ・クイック フローリングの施工方法とメンテナンス

施工方法

〈 施工に必要な工具 〉

- メジャー
- カッター
- 丸鋸 (まるのこ)
- スペース (クリアランスの幅に合わせて現場でベニヤ板等をカットしてください。)

[施工手順]

1 防湿シートを敷く

- 壁側まで隙間がないように、長手パネルを貼る方向に防湿シートを敷いてください。
- ※ すき間のないようシート裏面の両面テープで、シート同士をしっかりとめてください。
- ※ 発泡層を上にして使用します。(2mmタイプは白が上)

4 パネルの切断

- 列の最後に切断したパネルを次列の最初に敷きます。
- 最初1〜2列目はパネルが動きやすいので押さえながら施工してください。

2 割り付け

- 最終パネルの短手が50mm以上で納まるように割り付けします。
- 最終パネル幅調整後、一列目のパネルを切断してください。
- ランダム貼りかウマ貼りで施工してください。

5 最終パネル列

- 最終列のパネルは引き寄せながら貼ってください。
- 10m以上貼り伸ばすような場所では、T字型の見切り材を入れてください。
- パネルの幅が50mm以下になる場合はウレタン系の接着剤を使用してください。

3 貼り始め

① 石膏ボードを上げることができる場合(スペーサーは使えません。)

② 石膏ボードを上げられない場合

- 仮クギを打って、フローリングが石膏ボードの奥に入り込まない様仮止めしてください。
- 最後に必ず仮クギを外してください。クリアランスが取れなくなりフロアの浮きや床鳴りにつながります。
- 壁際等には最低5mm以上のクリアランス(調整幅)が必ず必要となります。前ページ標準納まり②又は③を参照の上、「必要クリアランス」の表に記載のクリアランスをとってください。
- ※ 専用スペーサー (RWCL-14822) をご使用ください。
- 凸サネを壁側にし左側から貼り始めます。

6 完成

- スペーサーを取り外し、巾木、見切り材等を取り付けたら完成形です。

見切り材の取付方法

■ L字型見切

1

- 壁側にL字型見切ベースを取り付けます。ビスで取り付けてください。

2

- スペーサーを前にはさみ、施工を開始します。
- 防湿シートはL型見切ベースの手前までとします。見切り材の上にはのせないでください。

3

- スペーサーをはずし、見切り材本体を上からかぶせてください。

■ T字型見切

1

- T字型見切を取り付けます。ビスで見切りベースを取り付けてください。

2

- スペーサーを前にはさみ、施工を開始します。
- 防湿シートはT型見切材の手前までとします。見切り材の上にはのせないでください。

3

- スペーサーをはずし、見切り材本体を上からかぶせてください。

[施工方法 注意点]

- 置き敷き工法で施工してください。(ノリやクギは使用しないでください。)
- ホコリやゴミがないように施工前に下地の清掃をしてください。
- 下地の上には必ず防湿シートを敷いてください。

● 防湿シートは裏面の両面テープをはがしクッション部分が重ならないように敷いてください。

● ビスで固定するようなサッシやクローゼットの下枠は、固定するビスより少し大きめな下穴を作ってからとめてください。

※ 撥水処理をしてください

● 本製品は湿気により伸縮するため、壁際には5mm以上のクリアランスを確保してください。

※ クリアランス不足は、伸縮によるふくらみや音の原因となります。

● 上パネルとの重ねシロが300mm以上になるように施工してください。

● パネルを切断するときは、裏側から切断してください。

● 凹サネにゴミが入りやすく、そのまま施工すると隙間が開いてしまいます。凹み部分のゴミを取り除きながら施工してください。

● 見切材の下になるパネルはカットしてから施工してください。

● 重量物が部屋の一部にある場合、L型床見切などによりクリアランスを設けるようにしてください。

● 見切材は最大10m以内の間隔で取り付けてください。ゆがみを防止するため、できる限り各部屋ごとに見切材を入れることをおすすめします。

床暖房をご使用する場合

- フローリングの表面温度が29℃を越えないようにしてください。
- 床暖することで室内が乾燥してきますので湿度管理を良くしてください。

メンテナンス

● ワックスは不要ですので掛けないでください。

● 日常のメンテナンスはモップや空拭きで清掃してください。

● 清掃時に水を直接使うような事は避けてください。かたく絞った雑巾や乾拭き程度で構いません。しつこい汚れは中性洗剤を少量使って落としてください。